

第 15 回両生類自然史フォーラム・総会

会期： 2013 年 12 月 1 日（日）

会場： 岐阜大学サテライトキャンパス

〒500-8844 岐阜市吉野町 6 丁目 31 番地

岐阜スカイウイング 37 東棟 4 階

TEL: 058-212-0390（代表） FAX: 058-212-0391

交通：

公共交通機関をご利用の場合

- ・ JR（東海道本線）岐阜駅（中央北口）から徒歩 5 分
- ・ 道順は裏表紙の地図をご覧ください。

お車をご利用の場合

- ・ 東海北陸自動車道 岐阜各務原インターより 7.5 km
- ・ 岐阜スカイウイング 37 の駐車場（1 日 1,000 円）が便利です。

日程：

12：30～ 受 付

13：00 開 会

13：10～14：30 特別講演（2 題）

14：30～14：40 記念写真撮影

14：40～15：30 ポスターセッション（7 題）・休憩

15：30～17：15 一般講演（7 題）

17：15～17：45 総 会

18：00～20：00 懇親会（岐阜駅内）

会費（会員の方）：

参加費 2,000 円 懇親会費 3,000 円 当日受付でお支払いください。

講演者の方へ：

- 一般講演は発表 12 分＋質疑応答 3 分です。

タイトな日程となっておりますので、時間超過のないよう、ご協力ください。

- 会場には PowerPoint 2010 と Adobe Reader 11 をインストールした Windows 7 のパソコンを用意します。事前（12:30～13:00）に USB メモリ等でご自身のフ

ファイルをデスクトップにコピーし、試写してください。ファイル名は発表者ご自身のお名前(例:内山実)としてください。動画の再生に不安がある場合や Macintosh の使用をご希望の場合などはご自身のパソコンをご持参ください(あらかじめ準備委員会までご連絡願います)。

● 一般講演の演者は、当日、講演要旨(ワードファイルを入れた CD とプリントしたもの)を受付に提出して下さい。要旨は、タイトル、発表者の名前と所属(所属は()内に記入してください)、1行あけて本文の順に書いてください。図・表の挿入も可です。特に字数制限は設けていませんが、目安は26字×48行程度です。最新の会誌に掲載されている例をご参照ください。

参加者の方へ：

- 皆様の日頃の両生類研究・調査・保全活動などを紹介する資料(論文別刷、イベント案内など)がありましたら、ご持参いただければ、会場のテーブル上に展示いたします。会員同士の情報交換にご活用ください。簡単な説明メモなどを添えていただくと見やすいと思います。メモ用紙(糊付き付箋紙)は会場にもございます。
- 会場で両生類文化に関する書籍やカエルグッズを販売します。ご用意する数が少ないため、お早めにお買い求めください。
- 発表の中には希少種の生息地の情報などが含まれている可能性もありますので、スライドやポスターの写真撮影をされる際は、ご面倒ですが発表者の許可をお取りください。

両生類自然史フォーラム プログラム

特別講演(13:10~14:30)

「水田のカエルの生活史」 愛知教育大学 芹沢俊介 先生

「海外に未知の両生類の多様性を探る」 愛知教育大学 島田知彦 先生

芹沢俊介(せりざわ・しゅんすけ)先生

愛知教育大学名誉教授。理学博士。専門は植物分類学、地域環境論など。「エコロジーガイド 人里の自然」(保育社)ほか、とくに東海地方の生物多様性に関する著書・論文多数。各種審議会委員を歴任。

島田知彦(しまだ・ともひこ)先生

愛知教育大学助教。博士(人間・環境学)。主な研究課題はアジア産カエル類の種間関係・系統分類学、農事暦が水田のカエルの多様性に与える影響、愛知県の両生・爬虫類相の研究など。笹川科学研究奨励賞(2011)。

ポスターセッション (奇数演題 14 : 45～15 : 05, 偶数演題 15 : 05～15 : 25)

協賛：岐阜大学淡水生物園

P 1 ○高橋晃太郎, 加藤真帆, 馬淵朋哉, 眞田樹也, 杉山加奈, 篠原悠希, 安澤晃, 二村凌, 石田瑞生, 磯貝涼介, 後藤暁彦, 高木悠, 丹羽大樹, 林俊輔, 増田綾香, 三輪直生, 村瀬希 (岐阜高校自然科学部生物班), 水戸直 (長浜バイオ大), 藤谷武史 (名古屋市東山動物園), 向井貴彦 (岐阜大), 矢追雄一, 高木雅紀 (岐阜高校)

守れ!ふるさとのカスミサンショウウオ V ～保護活動と東海地方の地域個体群間の系統解析～
(G 1)とあわせてご覧ください)

P 2 ○坂部あい (愛教大・院・理科・生物)

標識再捕によるツチガエル越冬幼生の成長追跡

P 3 ○豊田昇平, 島田知彦 (愛教大・理科・生物)

田んぼのカエルはいつ鳴くか - 自動録音装置を用いた終夜観察から

P 4 ○服部睦 (愛教大・理科・生物)

トノサマガエルとダルマガエルの幼体時の識別形質の検討

P 5 ○前田翔太 (愛教大・理科・生物)

知多半島産のアカハライモリについて

P 6 ○岐阜市自然共生部自然環境課

岐阜市自然環境基礎調査について

- ・岐阜市自然環境基礎調査 (H21～H25)
- ・岐阜市自然環境基礎調査結果～両生類編

P 7 ○楠田哲士, 安積修平, 加古智哉, 宮元彩希, 古橋美穂 (岐阜大・動物繁殖), 二村凌, 高木雅紀 (岐阜高校), 田上正隆 (世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ), 吉村卓也, 井戸健登 (岐阜市役所)

岐阜の希少生物カスミサンショウウオとニホンイシガメの保護増殖にむけた大学・高校・水族館・市役所の協働の取り組み

一般講演（15：30～17：15）

座長 島田知彦（愛知教育大・理科・生物）-----

G 1 ○高橋晃太郎, 加藤真帆, 馬淵朋哉, 眞田樹也, 杉山加奈, 篠原悠希, 安澤晃, 二村凌, 石田瑞生, 磯貝涼介, 後藤暁彦, 高木悠, 丹羽大樹, 林俊輔, 増田綾香, 三輪直生, 村瀬希（岐阜高校自然科学部生物班）, 水戸直（長浜バイオ大）, 藤谷武史（名古屋市東山動物園）, 向井貴彦（岐阜大）, 矢追雄一, 高木雅紀（岐阜高校）



守れ！ふるさとのカスミサンショウウオ V ～保護活動と東海地方の地域個体群間の系統解析～

G 2 ○田上正隆（世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ）



飼育下におけるコガタブチサンショウウオの繁殖行動

G 3 ○秋山繁治（ノートルダム清心学園 清心女子高校）



オオイタサンショウウオの飼育下での繁殖方法の確立を目指して

座長 矢追雄一（県立岐阜高校）-----

G 4 ○内山実（富山大・院・理工学）



環境塩濃度がオタマジャクシにおよぼす影響と耐塩性機構について

G 5 ○熊倉雅彦（日本歯科大・新潟・解剖2）, 小林亨（静岡県立大・環境科学）, 吉江紀夫（日本歯科大・新潟・解剖2）



トノサマガエルの指だこの組織構造

座長 田上正隆（世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ）-----

G 6 ○川内一憲（福井両爬研）, 藤井豊, 田中幸枝（福井大・医）



2011年石川県内における高田型トノサマガエルの生息地

G 7 ○村越美帆（岐阜大・応用生物）



トノサマガエルとナゴヤダルマガエルのハイブリッド個体の鳴き声について